

# WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力  
POWER OF CULTURE

2009年  
11・12月号 Vol.28

Wakayama Culture and Arts **POWER**

## 紀州漆器の里

わかやま浪漫街道を訪ねて  
うるわしの時に出会う

### CONTENTS

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

わかやま浪漫街道を訪ねて…6

大好き和歌山/けんぶん舞台裏へのご招待…7

カルチャーインフォメーション…8

【海南市黒江】  
室町時代に起源をもつ日本漆器四大産地の一つ紀州漆器の里として広く知られています。

# artist message

アーティスト メッセージ

## クラシック音楽を青島広志の愉快なおしゃべりと と素敵な演奏で楽しんでください!!

2010年1月17日、和歌山県民文化会館大ホールで「青島広志のおしゃべりクラシック Part 4」が開催されます。出演されるテノール歌手の小野勉さんに見どころなどをお聞きしました。

**Q** デビューから今日まで、常に心がけていることをお聞かせください。

**A** お客様に2オクターブ以上のハイ-Cから上の歌声を聴いて頂くために健康管理には特に気をつけて、ベストの状態です。舞台上に立てるように心がけています。

**Q** 今回のステージは「クラシック音楽の初心者にもお勧め」とお聞きしましたが、どのような工夫がなされるのでしょうか？

**A** クラシックは肩が凝ると思われる方もいらっしゃると思いますが、青島先生は楽しく面白いお話をしながら歌曲の裏話やオペラを解りやすくする解説など、子どもから高齢者の方まで誰もが身近にクラシック音楽に親しめるようなプログラムとなっています。ご来場くだされば、この楽しさが実感できると思います。

**Q** 今後はどのような活動展開をお考えですか？

**A** わたしはマイクを通して歌いません。ピアノやオーケストラの伴奏で生の歌声を聴いていただきたいので、コンサートを

主体にした活動を続けたい。「日本歌曲コンクール歌唱部門第3位」に入賞した時には3次予選までに30曲ほど日本歌曲を歌いました。オペラアリアや日本人の心に響く日本歌曲や童謡なども歌っていきたくと思っています。

**Q** 小野さんにとって「クラシック音楽」とは何ですか？

**A** 生活の一部であり、なくてはならないものです。子どもの頃にオペラ「カルメン」の前奏曲を聴いてクラシックが大好きになりました。FM放送ラジオの音楽番組もずっと聴いて楽しんでいました。高校2年生で合唱団にスカウトされて、以後、クラシック音楽と共に生きています。

**Q** ステージの見どころを教えてください。

**A** みなさんがご存知のクラシックコンサートの様式とはまったく違うコンサートです。青島先生の軽妙なおしゃべりと解説を楽しみながら、ソプラノとテノールの二重唱、オペラ歌曲、交響曲など数多の名曲の演奏で、ニューイヤーコンサートにふさわしい華やかでバラエティー豊かな



テノール歌手  
**小野勉**さん

都立八潮高校在学中より、合唱部指揮者の平松剛一氏のもと研鑽を積み、氏の率いる平松混声合唱団に所属し団長を務める。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。童謡からオペラアリアまで幅広いレパートリーを持ち、ハイ-Cから上の音までも自在にコントロールする確かなテクニックと、細やかな表現力には定評がある。近年脱サラしテノール歌手に転職、様々な場所に歌声を提供している。

ばらしいステージを展開します。

**Q** 和歌山県のみなさんにメッセージをお願いします。

**A** 和歌山県にはもう4回ほど行かせて頂いているのですが、忙しくて時間が取れず観光が出来ないのを残念に思っています。印象深いのは「みかん」と「県立田辺高校」です。田辺高校はNHK合唱コンクール全国大会に毎年のように出場しているので、合唱団団長として親しみを感じています。県民のみなさん、楽しいコンサートにぜひお越し下さい、そして一緒に歌いましょう!



Photo.青柳聡

1/17

## 青島広志のおしゃべりクラシック Part 4

- 開演/午後3時
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/一般2,500円、学生500円(小学生から高校生まで)

好評発売中

恒例となりましたブルーアイランド氏こと青島広志氏による楽しいお話を交えたクラシックの演奏会です。クラシックの入門として最適です。

指揮・ナビゲーター/青島広志

- 管弦楽: 大阪シンフォニカー交響楽団 ●ソリスト: 小野勉、四方典子
- プログラム: スッペ: オペレッタ「軽騎兵」序曲/J. シュトラウスII: トリッチ・トラッチ・ポルカ
- ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」第2楽章/J. シュトラウスII: 美しく青きドナウ ほか





和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



## 平成20年度 和歌山県文化奨励賞



囲碁棋士

### 矢田直己(やた なおき)さん

昭和48年紀の川市生まれ。小学1年生から囲碁を始める。小学5年生で小中学生の囲碁日本一を決める少年少女囲碁全国大会で3位入賞。昭和63年中学2年生で入段を果たしプロ棋士となる。平成12年九段に昇段。平成5年棋聖戦五段戦優勝。同年、関西棋院永井賞・山野賞受賞。平成8年関西棋院新人賞。平成19年関西棋院連勝賞。平成20年大桑文化財団文化奨励賞受賞。



「父親から囲碁をしようと誘われて、碁盤の前に初めて座ったのが小学1年生でした」と矢田さん。囲碁の基礎やルールを父親や近所に住む囲碁好きな方に教わりながら対局を始めると、メキメキ腕を挙げて囲碁大会で優勝を重ねるようになりました。小学5年生の時に少年少女囲碁大会の全国大会で3位になり、プロにならないかと誘われて、関西棋院生になり自宅から大阪まで週に2回の稽古に通いました。中学1年生からはプロ棋士の白石裕九段の内弟子として住み込みの修行を始めました。学校に通い勉学に励みながら、早朝から夜遅くまでの棋譜並べや師匠との対局、研究会などで指導を受け、一日中碁盤に向き合う生活を続け中学2年生でプロ初段となり囲碁界にデビュー。以後、着実に実力を伸ばし平成5年には棋聖戦5段戦で優勝し、同年、日本を代表する棋士50名が選抜出場するNHK杯テレビのトーナメント大会にも初出場を

果たしました。平成8年に関西棋院の新人賞を受賞、平成11年には関西棋院若王戦や第2回山野杯において優勝を飾り、平成12年、九段に昇段。長時間に及ぶ対局では対戦相手の打つ手の先を瞬時に100~200通りも読む強い集中力、精神力、体力が必要でこれらの鍛錬を今も日々続けています。

年間数え切れないほどの対局や後輩指導の傍ら、棋譜の研究にも努め、江戸時代の古い棋譜を研究・解説した「秘譜発掘」と題した著書も発行し囲碁文化向上を図っています。

また、インターネットでの遠隔指導や各地域の囲碁教室での指導など普及や囲碁

人口の広がり貢献し、さらに、若者が囲碁に親しめるようにと「文化庁・文化活動支援事業」による紀の川市内の中学校での囲碁指導も行なっています。矢田さんは「対局中は苦しいけれど、終わった時の爽快感はなものにも変え難いものがあります。これからもトーナメント対局に集中します。そして囲碁普及のためにお役に立てるよう力を注ぎます」と力強く語ってくれました。



## 第4回 和歌山県民俗芸能祭

県内各地域の伝統芸能7団体が集まり、民俗芸能祭を開催します。伝統芸能がもつ長い歴史とその魅力をご堪能ください。

### ◆出演団体

- 岡崎団七(だんしち)踊/岡崎団七踊保存会(和歌山市)
- 塩津のいな踊/塩津のいな踊保存会(海南市)
- 木ノ本の獅子舞/木ノ本獅子舞保存会(和歌山市)
- 戯瓢踊(けほんおどり)/戯瓢踊保存会(御坊市)
- 國津(くにつ)神社の三面獅子舞/國津神社三面保存会(湯浅町)
- 濱(はま)の宮權(かい)踊/濱の宮郷土芸能保存会(那智勝浦町)
- 野中(のなか)の獅子舞/近野獅子舞団(田辺市)

- ◆開催日時/平成22年1月31日(日)
- ◆開演/午後1時
- ◆場所/紀南文化会館大ホール
- ◆入場無料/要整理券(全席自由)11月中旬から配布予定
- ◆整理券配布場所/和歌山県民文化会館、和歌山県文化遺産課、粉河ふるさとセンター、かつらぎ総合文化会館、県立橋本体育館、御坊市民文化会館、紀南文化会館、上富田文化会館、串本町文化センター
- ◆郵送による申し込み方法/往復ハガキに①「民俗芸能祭観覧希望」と明記し、②住所・氏名・希望人数(1枚あたり2人まで)を記載のうえ、下記へお申し込みください。(1月17日(日)消印有効)
- ◆お問い合わせ・郵送申し込み先  
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1  
(財)和歌山県文化振興財団 民俗芸能祭 係  
TEL:073-436-1331 FAX:073-436-1335

## 11/7 アートワークショップ 1日体験会

■時間／午前10時～午後4時ごろまで  
 ■場所／県民文化会館内会議室

身近に文化に触れ、体験していただくイベントです。  
 当日も定員に余裕があれば参加できます。

### 14の講座募集中

初心者のための三味線教室、初心者のためのネイル教室、俳画教室、毛筆・筆ペンで書く楽しい年賀状教室、いけばな嵯峨御流教室、かっぽれ踊り教室、やさしい日本舞踊教室、太極拳入門教室、現代和布の小物づくり教室、キラキラ☆デコ☆教室、アートフラワー教室、針がねとビーズのオブジェ教室、和歌山歌舞伎散歩、手づくり絵本教室

※ギターウクレレ教室は、定員に達しました。  
 詳細は下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

(財)和歌山県文化振興財団 TEL073-436-1331

## 11/15 ミニコンサート in マリーナ

■開演／午後2時  
 ■場所／わかやま館1階(マリーナシティ内)和歌山市毛見1520  
 ■入場無料

出演／・チャッチャラー(沖縄三線&歌)

- ・中野綾・幾瀬敦子(声楽)&池ノ上祐子(電子ピアノ)
- ・清水利美・八杉雅美・前芝久仁子(箏)
- ・中西恵子(声楽)&坪井静香(電子ピアノ)&米田芳子(ダンス)&木村和紀子・木村直貴(大正琴)
- ・大野憲子(声楽)&前山奈美(電子ピアノ)
- ・河内克之・中谷由紀彦・大平敦子・宮楠静・杉野泰夫(ホルン・アンサンブル)

【お問い合わせ】

(財)和歌山県文化振興財団 TEL073-436-1331

平成21年度優秀映画鑑賞推進事業

## 名作シネマシアター

開催日 11月11日(水)、12日(木)

- 上映／両日とも午前10時
- 開場／両日とも午前9時30分
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／入場券400円(1枚で2日とも入場できます。)  
 ペア券700円(お2人で2日とも入場できます。)  
 シニア券300円(60歳以上の方、2日とも入場できます。)  
 (当日年齢を証明するものをご持参ください。)

文化庁と東京国立近代美術館フィルムセンターが進める「優秀映画鑑賞推進事業」により開催するもので、大正・昭和期の映画監督である、伊藤大輔の「弁天小僧」、「王将」。内田吐夢の「飢餓海峡」、「血槍富士」の4作品を一挙上映します。

11月11日(水)	弁天小僧	10:00～11:26
	王将	12:00～13:33
	飢餓海峡	13:45～16:48
	血槍富士	17:00～18:34
11月12日(木)	血槍富士	10:00～11:34
	飢餓海峡	12:00～15:03
	王将	15:15～16:48
	弁天小僧	17:00～18:26



■血槍富士



■弁天小僧

## 平成22年 1/24 けんぶんミュージックフェスティバル

- 開演／午後3時
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料／一般1,000円
- 出演者／事前のオーディションに合格した方(8組予定)
- 特別ゲスト／ウインズ

田頭宣和(平成20年度オリジナル部門ベストアーティスト受賞者)

様々なジャンルで活躍するアマチュアミュージシャンに発表の機会を提供するものです。審査員と来場者の投票により、ベストアーティストが選ばれます。



平成22年 2/21 ～和歌山県新人演奏会出演者による～

## 第4回 音の杜コンサート

このコンサートは、和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を継続され、活躍中の方々によるものです。

- 開演／午後2時
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料／一般1,000円、学生500円(全席自由)

声楽 久保美雪(第24回出演)  
 ピアノ 森下美和(第27回出演)  
 フルート 湯川紗代(第33回出演)  
 ユーフォニアム 藤本啓介(第34回出演)  
 ピアノ 吐前 瞬(第37回出演・特別奨励賞受賞者)



久保美雪



森下美和



湯川紗代



藤本啓介



吐前 瞬

平成22年  
1/木  
28全3幕4場 レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」  
音楽：P. チャイコフスキー 振付：M. プティパ、L. イワノフ

- 開演/午後6時30分
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/S席12,000円、A席10,000円、B席8,000円  
C席6,000円、D席(学生)3,000円  
D席を除き各席とも500円の学生割引有り



## 原典に忠実という、こだわり

世界一有名な「白鳥の湖」ですが、実はその演出・振り付けは、それぞれのバレエ団ごとに少しずつ違ってきます。19世紀に生まれた作品なので、時を経るごとに変化してきたわけです。そんな中レニングラード国立バレエが現在上演しているのは、プティパ、イワノフが約100年前に描いた初演当時の姿を、できるだけ忠実に復刻した、劇場が誇る代表作です。胸を締め付けるほどの情感を見事に描いた演出と、美しいチャイコフスキーの音楽が見事に溶け合い、一層の悲劇性を際立たせています。

平成22年1/28(木)

特別企画  
リハーサル特別見学ツアー  
参加者募集

- 時間/午後4時から
- 所要時間/約40分
- 見学/バレエのリハーサル風景など
- 募集人員/70名(但し、レニングラード国立バレエの公演チケットをお持ちの方に限ります。)
- 募集期間/11/10(火)~1/9(土)
- 参加無料
- 申込方法/往復はがきに・お名前・ご住所・電話番号・年齢をご記入し、お申し込みください。  
※グループでお申し込みの場合は全員のお名前・年齢を記入。  
※応募者多数の場合は抽選とします。
- 【お問い合わせ・お申し込み】  
〒640-8269和歌山市小松原通1-1  
(財)和歌山県文化振興財団「レニングラード国立バレエ 特別見学ツアー」係  
TEL073-436-1331 FAX073-436-1335

平成22年  
2/日  
7

## 宝くじふるさと ワクワク劇場 in わかやま

宝くじの売上金の一部から助成を受けて「宝くじふるさとワクワク劇場inわかやま」を開催します。笑福亭仁鶴師匠やテレビでお馴染みの芸人によるステージや、吉本新喜劇のメンバーと県民の方々の共演によるコメディ劇場をお楽しみください。

- 開演/午後2時
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/2,000円(全席指定)
- 販売開始日/けんぶん友の会優先電話予約11/13(金)午前10時から  
一般(プレイガイド)販売 11/20(金)

- 第1部 お笑いオンステージ 笑福亭仁鶴、オール阪神・巨人、大木こだま・ひびき、他  
第2部 トーク「ふるさと、わが町あのひと、このひと」  
和歌山県の有名人を紹介するコーナーです。藤原真千子さん  
第3部 ほのぼのコメディ劇場 吉本新喜劇メンバー  
&和歌山県のみなさん(オーディションに合格された方)



笑福亭仁鶴



オール阪神・巨人



大木こだま・ひびき

## 公開オーディション「ほのぼのコメディ劇場」への出演希望者を募集します。

- 日時/平成22年1月16日(土)午後2時より
- 場所/和歌山県民文化会館3F特設会議室
- 申込方法/ハガキ、FAX、メールにて下記まで応募してください。12月27日(日)(当日消印有効)
- 申込先/〒640-8269  
和歌山市小松原通1-1 和歌山県民文化会館内  
「宝くじオーディション」係  
FAX073-436-1335 e-mail:wacaf@or.jp

- 主催/和歌山県・(財)和歌山県文化振興財団・(財)自治総合センター
- 後援/NHK和歌山放送局・(財)NHKサービスセンター

## 平成21年度きのくに舞台芸術祭支援事業

12/日  
20X'mas スーパーイベント  
紀の川フェスティバル

- 開演/午後2時
- 場所/粉河ふるさとセンター大ホール
- 入場料金/子ども1,500円(3歳以上有料)  
入場料を払った子どもさんにはクリスマスプレゼントがあります。  
おとな1,000円

出演/いっこく堂(スーパー腹話術)  
杉山兄弟(世界のシャボン玉)  
HAMORABA(アカペラクリスマスソング)  
ジャグラー(パフォーマンスとバルーンアート)  
【お問い合わせ】粉河ふるさとセンター(9:00~17:00)  
TEL0736-73-3312

【主催】紀の川の

12/水  
23クリスマス・コンサート  
千住真理子ヴァイオリン・リサイタル

- 開演/午後2時
- 場所/和歌山市民会館小ホール
- 入場料金/前売3,500円、当日4,000円(全席指定)
- プログラム/J.S.バッハ:G線上のアリア、主よ、人の望みの喜びよ  
パッパルベル:カノン/シューベルト:アヴェ・マリア  
ドビュッシー:月の光  
千住明:ラストナイト 君を信じて~NHK連続テレビ小説「ほんまもん」より~

【お問い合わせ】  
(財)和歌山市都市整備公社(和歌山市民会館)  
TEL073-432-1212  
【主催】(財)和歌山市都市整備公社



【助成】和歌山県・(財)和歌山県文化振興財団

【協賛】(財)和歌山県市町村振興協会



紀州漆器まつり／紀州漆器の素晴らしさが目の当たりに。お得な価格で販売される「大漆器市」や、紀州漆芸作家展、漆器時絵体験コーナーなど、盛りたくさんな内容です。

紀州漆器(黒江塗)は海南市黒江で生産され、日本漆器四大産地のひとつに数えられています。室町時代、紀州木地師(椀や盆などの素地を作る職人)による「渋地椀」が始まりというのが定説。また、根来寺の僧侶が自ら使用するために作った什器(じゅうぎ)も紀州漆器の起源とされ、豊臣秀吉の根来攻めから逃れた僧侶が、黒江で漆工に従事したことから広まりました。江戸時代は紀州藩に保護され、目覚しい発展を遂げます。

黒江の川端通り周辺に今も残る

紀州連子格子は、かつての漆器職人たちの住居兼職場や問屋の名残。通りに面して「のこぎり歯」のように規則正しく並び、独特の景観を見せています。この古風な町並みは、散策におすすめです。

11月7日(土)・8日(日)には、川端通りで「第21回紀州漆器まつり」が開催されます。産地問屋による大漆器市などが行われるほか、同地の浄国寺では県内最古の枯山水庭園が、まつり開催期間中のみ公開。この機会に、紀州漆器と黒江の町並みを体験してみましょう。

わかやま浪漫街道を訪ねて

うるわしの時に会う

## 紀州漆器の里

[海南市]

和歌山県内に残る歴史街道を訪ね、守り続けたい地元の文化遺産をシリーズで紹介します。

問い合わせ／紀州漆器協同組合 Tel 073-482-0322  
アクセス／JRきのくに線黒江駅下車、徒歩約20分



紀州漆器／伝統を守りつつも、現代の生活様式に合う器も提案しています。



黒江の町並み／細やかで入り組んだ町割が、今なお残る路地の風景。「のこぎり歯」のような影が特徴的。

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

## ボランティアによる日本語クラスが始まりました!!

～和歌山県国際交流センターからのお知らせ～

国際交流センターでは、ボランティア登録制度があり、たくさんのボランティアが活動しています。

前号でもお知らせしたとおり、9月から、外国人に日本語を教える「日本語ボランティア」の企画・運営するクラスが始まりました。

ボランティアスタッフは、皆、熱意ある方ばかり!!「和歌山で、困っている外国人をサポートしたい!!」と、日々、よりよい教室運営に努力しておられます。

その熱意に応えるように、受講生の外国人の方も、一生懸命勉強しています。お互いの信頼関係も築かれ、和歌山が大好きになったという外国人の方もいます。

地域をもっと良くしたい! いつかは海外で日本語を教えたい!!と、ボランティアの夢は、膨らんでいます。

和歌山で海外に触れることができる国際交流センター。ぜひ、訪れてみてください。



みんなで和気あいあい!!

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F  
和歌山県国際交流センター  
TEL:073-435-5240

開館時間／午前10時～午後6時30分  
休館日／水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を開館し、翌日の月曜日を休館)、年末年始  
<http://www.wak-kokusai.jp/>

# 大好き 和歌山



定期演奏会に向けての練習風景



## 心と声を合わせ歌う楽しさ・喜び・感動を多くの人に伝えたい 和歌山市民合唱団

「和歌山市民合唱団」は和歌山市教育委員会主催の成人学級・終了生の「コーラスを続けたい」という熱い思いから昭和31年に誕生しました。今年で発足52年目を迎え、県内の一般合唱団では最も古い歴史を持つ混声合唱団です。現在の団員は50名。年代も20代～80代と幅広く、週2回、木曜日と土曜日の夜の2時間、ソプラノ、アルト、テノール、バスの方々がピアノに合わせて合唱し熱心に練習します。演奏会前には日曜日にも集中練習をして本番に臨みます。発当初から皆勤を続けている名誉団長・平原陸奥さんは82歳の今もバスで歌声を響かせ「若い頃から大声で歌うと気分転換になって日頃のストレスを忘れました。歌うことが楽しくて続けています」と話します。

団の活動は、毎年開催する「定期演奏会」を主体に「和歌山市楽しい歌

声の会」や「和歌山市コーラスフェスティバル」の出演、お花見、新人歓迎会、一泊二日の夏合宿、団員の寄稿による団報「あがらす」の発行など多岐に渡ります。

恒例の定期演奏会は52回目を迎え、11月7日和歌山市民会館大ホールで開催します。

第1部はオペラ合唱曲集、第2部は混声合唱とピアノのための世界の愛唱歌メドレー（和歌山市民合唱団委嘱作品）、第3部は市民名物歌芝居、第4部は混声合唱組曲「筑後川」です。オペラ合唱名曲の数々や団員のリクエストで選曲し編曲した世界愛唱歌メドレー、オペレッタのような第3ステージ、五楽章からなる大作の「筑後川」を披露し、多彩で魅力ある舞台を展開します。

歴史を誇る合唱団を49年間の長きに渡り指導している杉原治先生は

「大好きな歌を心躍らせ、声を響かせ、心と声を合わせ歌うことで、日常生活では体験できない大きな深い感動を味わうことができると思います。演奏会では舞台と観客が一体となる音楽空間をぜひ楽しんで下さい」と話し、団長の岡本隆広さんは「定期演奏会に向け団員一同心一つにして練習に励んでいます。日頃の練習成果をぜひ聴きにきて下さい」と熱く呼びかけます。

### 和歌山市民合唱団 第52回定期演奏会

和歌山市民会館大ホール

- 2009年11月7日(土)
- 開場/17:30 ●開演/18:00
- 終演予定/20:00

第1部/オペラ合唱曲集

第2部/混声合唱とピアノのための「世界愛唱歌メドレー」(和歌山市民合唱団委嘱作品)

第3部/市民名物歌芝居 今年も主役は2人

第4部/混声合唱組曲「筑後川」

■入場料/800円 小学生～高校生500円

## けんぶん舞台裏へのご招待 / vol.12 35ミリ映写機

普段は入ることができない舞台裏へ、普段聞き慣れない舞台用語を交えて皆さんをご案内します。

大ホールには35ミリ映写機を2台備えています。

映写装置の構造は、フィルムに現像された静止画を動画として見せる装置やフィルムに記録された※サウンドトラックを読み取るリーダー部(映写機)と、フィルムに当てる光を大出力のランプによって生み出す光源の装置部分、フィルムを巻き取っておき、順次

映写機へと送り出すフィルム送り出し装置部分の3つから成り立っています。

また、この映写装置の操作は映写技師(要資格者)によって行われます。

代表的な規格の35ミリフィルムの説明をしますと、映画は残像現象を利用して動画として見せるもので、現在は動画が滑らかで音質も優れた毎秒24フ



大ホール映写室

レーム(24コマ)で行われています。

フィルム幅35ミリでは、1秒間に24コマ(時速1.6km=1マイル)送ります。通常2時間の作品で7、8巻(1巻約15～20分)つなぎ替えながら映写します。

※サウンドトラック/映画フィルムの縁にある録音帯。